



マンションからの自殺者

それは私が小学三年生のこと。

私はマンションの205号室にいました。

なんでもない毎日、そのとき見てたのは洋画だったかな。

皆で並んで洋画を見てた。

すると突然、

ドン！！

というすさまじい音が聞こえてきたのです。

当然マンション住民が外を見ますよね。

私も見てしまったのですよ。

そう、下には血を浴びたショートカットの自殺者が。

私は幼かったから、とにかくその自殺者(血の後はしばらく消えず、サンダルが散乱していた)を興味しんしんで見ていましたが、母が見ては駄目!!というので、すぐに部屋に戻されました。

けれど記憶にはいまでもはっきり残っています、その最期の姿を。

それから私は時々自殺者を思い、人が自殺する様を描き続けていました。

子供でしたから悪いこととは思わず、描き続け、そしてそれが罰が当たったのでしょうか。

ある日、眠ってて目が覚めて、それは昼であったか、夜であったか、おそらく昼だったと思います。

兄との二段ベッドの下のほうで寝ていたんです。

ふ、と上を見て、固まりました。

ショートカットの女の人が、異様な気配の女の人がさかさまになって、私を見てる。

明らかに光源もおかしいし、生きた人間の放つオーラじゃない。

ただばっちり目を開けて。

私を。

見ていました。

それから色々パニックになって、でも動けなくて、お兄ちゃんじゃない、お母さんでもない、じゃあこの人は誰!?

それから思い切って目を閉じて、女の人が見てる方向とは違う方向から逃げ出して、母に泣きつきました。

お母さん!!

ショートカットの知らないおばさんが私をベッドの上からさかさまになってみてたの!!

母も固まりました。

でも理由は教えてくれず、数年後、そのマンションから引っ越して今の家にいるときに当時のことを話しました。このころは兄も生きていましたから、茶々を入れて、うそだーなんていっていたんですが、本当のことなんですよ。

そして母は語りました。

あの時ね、自殺した人は205号室の前にある天井の角に当たってから、落ちたの。

それでね、30代の女の人だったのよ。

だから私も怖かったの。

話はこれだけでは終わりません。

そして時はたち、最近になって206号室に越してきた夫婦がいました。

でもその奥さんが靈感があるというのです。

そしてエレベーターの前で、泣き声が聞こえると。

兄の霊

私は3人兄弟で、2人の兄がいました。

そう、2人の兄が、いました。

兄は当時28歳(生まれ年で数えると29歳)。

ときは2006.2/5突然に悲劇は起こりました。

母の叫び声とともに、「○○!!しっかりして!!」という声。

行ってみると、長兄はベッドからずり落ちる形でぐったりしていました。

顔色は明らかに悪いです。そして冷たい。

救急車を呼んだがときすでに遅し。

病院で「ご臨終です」といわれたとき、なんて冷たい言葉だろうと思い、泣いてすがりついたのを覚えています。

前日まで普通に話していました。次の日の朝、死んでいました。

朝あの日6時におきたとき、何度そのときに見に行けばと悔やみました。

でも悔やんでも仕方ありません。

そこで兄の道は途絶えてしまったのですから。

絵もやりたいことも、お前に負けてしまったから、小説家になるんだ。

前日の兄の笑顔が忘れられませんでした。

そこから頻繁に兄が夢に出てくるようになって、けれど姿は当然見えぬまま。だけど。

つい最近です。私はいつものように、夜、飲み物を補充しにいったんです。

そこで見たのは、長身の、兄の服を来た男の人でした。

なぜか顔はこちらを向かず、反対方向を向いていたのですが、確かに思ったのです。

これは、「あの時」と似ている。

マンションからの自殺者です。

あの空気とほとんど同じだったのです。

ただ違うのは、不思議と怖くありませんでした。

確かにそこにたっていた。

でも、次兄は山形にそのころ住んでいたし、一番近い姿をしている男の人といたら父しかいませんね。

父の部屋をちら、と見たとき、父の部屋には電気はついておらず、無人状態なのが一瞬で分かりました。

そしてその一瞬のうちに顔を元に戻したとき、そこには誰も立っていませんでした。

見間違いなんてありえない。

確かにいた。でも今はいない。

そのことを家族や友人たちに話すと、見守ってくれたんだよ。

心配だったんだよ、お前のことが。とってくれました。

でもそれが正解とは限りませんよね。

それでも私は怖がりにもかかわらず、またも兄の霊を見たいと思ったのです。

まだ二回目はでてきてくれませんがね。

最後に記しますが、兄は自然死突然死と呼ばれる類で、何が原因かは分かりませんでした。

決して自殺ではありません。

私が二歳のとき、友達があまりいなかった。
静岡に引っ越してきて、私二歳くらいだったからかな、友達いたとか覚えてないんだ。
ただ一人いたけど、友達ってわけじゃないけど。
そんな話を東京にやってきて数年して、母さんがいったんだ。

そうそう、お前あさいくんって友達がいたよね。

あさいくん？
私には覚えがなかった。
二歳だから覚えてないとかじゃなくて、本気で覚えてなかった。
私は二歳のころはなした相手は覚えてるし。
でもやっぱり記憶があいまいで、分からないことも多いわけ。
だからその類かなって聞いてみたら、おかしかった。

あさいくんって大人には見えない男の子ときゃっきゃと遊んでて、公園で、誰と話してるの？
てきいたら、「あさいくんと話してるの」って言うのよ。もちろんそこにはいない。

怖くなって、「あさいくんはどこから来たの？」って聞いたらしい。
そしてその二歳の私は笑顔を作って、山を指差した。
「お山の向こうからきたんだよ」って一言。山の向こうには当然何があるとか分からなくて、山の近くには何も無い田舎で、そのうち私は静岡から引っ越した。

するとあさいくんと遊ぶ現象はぴたりと止まったという。

素足で

ゴキブリふんだ...

イヤホンから音楽が聴こえなくなった

日記からの転載です。

昨日起こったことですが夢じゃないのは確かなのですが、初めての出来事なのでびっくりします。

うちは自宅仕事なので、昼寝してた。その時母親が扇風機を止めた後らしいので、暑かった。目を覚まして(目覚めが凄くいい方です)、起きようと思ったら体が動かなくて、あれ?と思った。もしかしてこいつが金縛り?と思ったけど、確かに頭は冴えていた。夢かなと思ったけどどうしても体が動かない。

金縛りにあうのは初めてだし、メカニズムはわかっているけど、脳が起きて体が眠ってるとかじゃなくて、体を動かそうと思ってるけど、少ししか動かない。

金縛りって本当に動かないんだね、無理やり動かそうとしても、抑え込まれているような感じなの。指先がちょっと動いたくらい。

その時戦メリの曲をIpodでイヤホンで聴いてたんだけど、いきなり何の前触れもなく聴こえなくなった。

聴こえなくなったと入れ替わりに、すぐそばで、女の声が聞こえた。

イヤホンがあるのに、イヤホンの中から聞こえるような感じだった。

ぼそぼそと何か言うけど、その時、やばい!!って思って、塩!!って思ってたけど、とにかく声は聞こえる。

やはりその間ならない音楽。コードが千切れたとか、抜けたとかそういうことはなくて、聴こえない。

その代わりに、何かぼそぼそ聞こえる。その時少しだけ何か単語が聴こえた気がするけど、忘れた。パニックになってたんだと思う。

相変わらず体動かそうとしても、動かずに、女の声で何か言ってる。

完全に何を言ってるかまではわからなかった。何か妙な感じはその間ずっとしてた。

私にはかなり長く思った、ずっとぼそぼそ言ってる。

やっぱり体は動かない。

で、唐突に頭叩かれたように体が動くようになった。女の声はやんだ。

そしたら音楽はいつものように聞こえてきて、夢だったんだろうかと思うけど、確かにあれは夢じゃない。

とりあえず塩しか頭になかったので(塩で軽い結界が張る方法がある)、塩をと思ったが、量がたりないのでできなかった。

警告に来たのかわからんが、金縛りを初めて体験した。

もう少しはっきりと言ってくれればいいんだが、何か言ってるのしかわからなかった。

その時感じたことをあげると、「怖い、やばい、塩、でもどっかなんか変な感じ」

最後の変な感じは、言葉にし辛い。悪い意味で変な感じではないことだけしかわからない。

最近女性で身近でなくなった人はいない。

時折変なものは私は見るけど、特に気にしないようにしてるし、最近もドアを握る手がなくなったので、どっちかいったんだなあ程度にしか思わなかった。

ちょっと前では白い足だけがリビングから廊下へとことこと歩いていたこともあったけど、怖いとは思わなかった。

その後訃報が来たけど。

そして時刻は少しずれて、親戚の枕元にそのなくなった親戚が立っていましたって。

うちにあいさつに来たのかは分からないし、同一人物かもわからないが、その人は首の骨を折ったせいで出歩けなくなって、入院生活だった。

怖くなかったそれっぽいものはそれくらいか。

流石にやばいと思ったのはマンションから自殺した人がうちの部屋に来た時。あまりに強烈すぎて、雰囲気だけで恐怖を感じた小学生時代。(後日談で、うちの家に移った人が、必ず廊下で女の泣き声をきいたそう)

後、今の家で死んだ兄が、立っていた時かな。

うちの部屋の前に。顔をそらして微動だにできなかったけど、すぐに「この世にいない人」って分かった。

威圧感？に似た感じがする。それと、本当に気配から生きた人間じゃないのがわかる程度。

全身本格的に見える霊ってのはその時で、まじまじと服とかみてた。柄も色も覚えている。

身長、背格好、髪型、服からして兄に間違いない。でもなぜか目(顔)をそらしている。

すぐそばに鏡はあったけど、そこに映っていたかどうかまではみてなかった。

で、一瞬目をそらしたら消えた。

ちなみに私に靈感はほとんどない。

例の今日の人だが。

ちょっと心当たりがあるのが、昨日(正確には今日)の丑三つ時あたり、「(死んだ)お兄ちゃんに会いたい」と呟いたくらいか。

じゃあ何で女が来たんだ、解せぬ。

続き(今日の日記)

私は見えることはあってもきくことはなかったわけです。

んで、ろうとさんに話を聞いてもらった。ろうとさんは逆に見えないけど聞こえる人。

話し合った結果、色々と思いだした。脚色じゃないのはこれだけは伝えておく。

これは私の錯覚かと思っていただけ、話されている最中はぱにくっていただけ、なぜか頭には相手の姿が少しだけ分かった。

ただ、姿を見たかどうかまでははっきりしない。パニック中なので。イメージが浮かんだ時のそれは「黒い髪の長い女性」で、すぐそばにいたような感じはした。

雰囲気的にはちょっと暗い感じ？でも絶対この人は悪い人じゃないというのは確か。

金縛りが終わった後、なぜか「父方の祖母」という感じがした。

その前に感じた妙なことってこれのこと、あまりに唐突に祖母が出てきたので、不思議に思った。

でも私が知っている祖母はほとんどない。

当然黒い長い髪の女性であったかなんて覚えていないし、しゃべり方は私とそっくりだから(母談)、ぼそぼそと呟いたしゃべり方ではないはずだし。

なのでこれはどうなんだろうと思って書かなかった。

祖母はなくなって、祖母は私のことをとても可愛がっていたらしい。

しかし亡くなったのは、私が幼稚園とかその時で、私は小さいせいか物凄く冷静だった。

遺体を焼くとき、祖父が、いつも祖母に冷たくしていたくせに、『焼かないでくれー!!』って手を出して、空をつかむように泣きわめいていたの見て、子供ながらに「そんなになくならもっと仲良くしてあげればよかったのに」とか思っていた。

というわけで、私は祖母のことはかなり忘れていた。正直言うと、そう思うまでずっと忘れていた。ごめん。

墓参りも、殆ど行ってない。一年前にいったくらいか。

行くのに車と電車どちらでもものすごく時間がかかり、疲れるので、あまりいけないのが理由。兄もその墓に眠っている。

ろうとさんと話して冷静になったので、あげて行くと、あの人は兄ではない。女性の声だったから。

夢かと思ったけれど、イヤホンから突然曲が聴こえなくなって、女性の声が聞こえてきたのは現実で、その間ずっと何とかしようともがいていたのも覚えている。

声が聴こえないと同時にイヤホンからまた曲が流れてきたのも覚えている。

言っとくとそのIPODは中古だけど、こういうことって今までに一度もない。

曲は禁じられた色彩だったので、女性の声が入るはずもなく、中断された理由もわからないし、

再開されたことからして、コードが抜けた可能性なし。

ろうとさんが今まで聞こえたことのある声は、「怒っている」ということが分かる、いわば自縛霊というもの。

私を感じたのは、パニックになっていたが、「塩!!怖い!!でも、この人は悪い人じゃない」それくらい??

何せ初めての体験だったんで、聞いた言葉を覚えていないのが残念なところ。

妙な感じってのは本当に言いづらい。

あったかいとか、そんな方で、親しいとか、何かそんな感じ。その後に浮かんだのが父方の祖母。

他人の様で他人じゃないって感じだけしかわからん。

何か関係あるのだろうか。

若いころの祖母は知らない。何でいきなり祖母なのか本気でわからん。

母方の祖母ならわかるが、ずっと昔になくなった父方の祖母なのかが不明。

私の友人で昔、守護霊が見える人がいたけど、目が疲れるらしいので、私は見てもらえなかった(辛いらしい)。

しかし私に「守護霊がないね」と言ってなかったので(何気なく隣にいた友人には、守護霊がないことを言い当てた)、いることは確かだが、守護霊は交代することもあるらしいし、今のところその友人は北海道に行って連絡がないので取りようがない。

ちなみに彼女によると、彼女自身に守護霊は計三体いて、知らない人二人で、昔飼っていた犬が一匹だそう。

「霊も年をとるらしいんだ、その犬、よろよろしながらついてくるの」と言っていたのが印象的だった。

とりあえず結論的に持っていくと、ろうとさんの経験上、悪いことはないと思う。らしい。が、何か伝えようとしているのはわかった。

それが何なのかわからない。

靈感ないのに何を伝えたかったのか、あの女性は。

でももう金縛りはやめてください。

イヤホンから音楽が聴こえなくなった[後日談]

ということで、おまけというか、実はマイミクの中に、かなり靈感の高い方が、色々教えてくださいました。

前提として、彼女は体験談しか見てないから推測ですと書いてありました。そして死んだ兄が立っていたことについても教えてくださいました。

まず黒い髪の女性と祖母は違う人。

たまたま波長が私とあって、それでいきなりつかみかかって私に何かを訴えようとしたのだと思われる。

祖母で、私のことを大事にしていたならば、そんなことは絶対しない。

もし祖母的なものを感じたのなら、祖母がその霊を遠ざけた可能性はある。

では祖母は成仏していないのか？

これについては、実は成仏していても、あの世からやってくることがある。

輪廻の輪の中に入ってなければ。

つまり、あの世とこの世はつながっていて、実際マイミクさんの旦那様のお父様はだいぶ前になくなっていて、旦那様のお母さんの体調不良の時、よく現れるようです。

時々靈感のある彼女にメッセージを飛ばしてくるらしいが、誰も信じないので話していないとか。

兄の霊について。

ドアをあけたら兄と思われる人が立っていた。

だが服は死ぬ時と違って、でも生前よくきていたものであるが、なぜか顔をそらしているという内容(この怖い話テキストの中に詳しく書いてあります)。

兄の死を家族が受け入れているか受け入れてないかによるが、受け入れてなければ心配できてしまった。(成仏できていない)

うちは兄の死を受け入れているので、心配できたことはない。

とすると、兄が死んだことに気付いていないということがある。

見ればわかる通り、突然死だったので何も分からず、生前によくいたところに現れることがあるそう。

服について。生前気に入ってたものを身につけているのはよくあることらしいです。

ではなぜ顔をそらしたか。

生きている次元が違う、つまり兄は死んでいて、私が生きているため、顔をそらしてすぐに消えた。

まあ、言っちゃえばツンデレか。

たまたま突っ立っていたところに私が偶然出くわした。ということらしいです。

なかなか凄い見解でした。他にも色々書いていただきましたが、大体こんな感じです。

追記・

兄の霊、さらに最近また心霊体験らしきことになったので、お祓いしてもらうらしいです。

というのも、親戚がなくなる直前に足がとことこ歩いて行くのが見えました。

その後最近ですが、墓場に行ったら何かついて気たっぽいのが、そのあとやけに調子がいい。

お祓いがいつか分かりませんが、さすがに短期間で色んな目にあいすぎだということで。

夢を見るんだが

以前同人関係で断ったところの夢を、一週間半くらいで八回くらい連続で見てる。

場面が何度も切り替わっておなじところにいる。

それもどうも、夢の内容では全部成功していないらしい。

元々その同人サイトは全く進んでないらしいのは見てわかったが、なんとなく連絡はとってみたが、まあ、ドットの方だけ終わっているらしいので私には意味がないかもしれない。

だけどここまで悪い夢を八回連続でると、その同人サイトはこの先かなり大変なことになる。

全くHITが飛ばない、それとも私が何か関わるか。

恨んだりしたことで実際に会社つぶれたりその通りになったりすることはよくある。

夢でこの頻度で見るのは異常だと思う。

この前も嫌な予感したら、ものの見事に当たりました。

まあ、予知夢というかそれに近いです。

パブーのホラーランキング四位に入っていて、ビビった私です。

でも何を基準？DL数上の方が私の下にいて、私はコメントもらってなければ点数も一回つけてくれたくらい。何だろう？

簡単なお話をこの前聞いたので、測ってみてください。

所で、皆さん、自分を後ろから見ている光景はありませんでしたか？

私はいくつかその場面を覚えています。ずっと気になったそれ、これで分かりました。

昨日の晩御飯を思い出してください。

その時、自分はどこから見ていますか？

自分の目線で食事を出来ていたら、何もついていません。

右上や位置がおかしかったら、ついています。

ただし悪霊か守護霊かは、不明です。

私はこの前やったら、普通でした。母が右上からの視点だったとか。

論外・飯を思い出せない

で、ここで、塩まじないについて。

オカルト板を知っていたり通いつけている方ならご存知だと思われる、この世で最も簡単な浄化。

塩がつくので、いい方向へ持っていくことしかできません。

なのであいつ殺したいとかは無理です。それは自分でやってください。

方法1・灰皿を使う

基本的に塩まじないは、書き方が重要。

紙に、したいことを書きますが、このときなんのペンでもよいらしいです。私は普通のペンを使っています。

書き方に注意で、例として、今人間関係が悪いから、よくしたいなどという場合、「人間関係がよくなる」と書きます。

斜め上があり、「お金がない」でやると、誰かが事故にあったり離婚したり、悪いことでかかってしまうので、書き方は注意。

書いた紙に、塩を一つまみ乗せ、火をつけます。灰皿の上で灰にした後、流し台やトイレに流す。

塩は味塩で効いた例もあるらしいので、基本的に何でもいいかと思います。私は食塩。

人によって対人関係の際に塩コショウを使い、塩を文字に付けまくることをすると良いとか。

方法2・トイレト紙を使う

手順はほぼ同じで、塩を乗せた後灰にしないでトイレに流すだけ。
もっとくわしいことはオカルト板でこれを検索するとスレが出てきます。

効く効かないは個人差があります。

うちの成功例・

仙台の兄が帰ってくるようにしかけた。

震災の影響で人がこないため、塩まじない直後に一時帰省して、すぐに戻った。

その後兄の店が震災の影響で、人がこないので繁盛するように願った。

直後から、突然昼に満席になり、夜に満席、テレビ取材とラジオ、雑誌に載る。

今も兄の店は好調です。

人間関係に悩んでいたのが、自分のをいい方向に持っていかせた。

何気ない会話で、ツイッターで仲間ができる。よそよそしかった他の人とも打ち解けて、色んな話題が出来るようになった。

オフ会があり、それに参加したことで色んな人たちと出会った。おかげで楽しいです。

原稿はいつも孤独だったが、ある人がきっかけで原稿スカイクに便乗、無心に線を引き続け、喋り続ける仲間が出来た。

人間関係に今日こじれたが、すぐに解消した。

周りの影響が強い。

友人が悩んでいたのが塩まじないで、昔の彼氏のことを忘れるようにと願った。

すっぱり忘れた。

効かなかった例・

一人ネットで凄く人間関係こじれ、彼女がどうにかなるようにとしたが、効かない上、かなり苛立っていた念がこもりすぎたのか、予知夢に近いものを見た。

近々彼女が不幸になるだろうと思い、とりあえず共通の友達に電話したが、彼女のことを全く知らないという。

電話するのも私くらいだというほどつきあいが浅かった。

かといってこんな電波なことを本人に話すこともできないし、日記で自分がたりをしない人なのでどうしようもない。

なので、どうなったか不明。

相手の本名が分からないので、HNと大体の住まいだけでやったが効かなかった。

創作意欲のない人に創作意欲をわくように祈ったが、結局効かず、その人は創作意欲ないからっ

ていうことで失踪した。

斜め上例・

ある人が彼氏と別れたいが改善しないので折れるようにと祈ったら、彼氏の骨が折れた。
さすがに読んだ私は爆笑した。

私の例ですが、就職活動が受かりますようにという意味で、「受からない」と書いて送ったら、就職落ちて、難易度ハードなはずのジャンルのコミケが合格した。

住人に盛大に爆笑されて応援された…。

職場の人間関係で困っていた人の報告例。

二人から嫌がら背が嫌で、一人は別の場所に行ったが、そのあと斜め上を食らって、自分が退職することになってしまった。

と、以上です。

何があった？

解離性人格障害というものの一種らしいのですが、詳しいことは分かりません

自分が自分じゃないという現象だけけど、普通におかしいことがあったので行きます。

十五歳前後で、ただその時覚えているのは、鳥が一羽いて、手乗りなのに、その子が非常に煩わしいということ。

その最中になにをしていたかさっぱりわからない。

ある昼下がりに、私が机に向かって何かをしているのが後ろから見れた。

後ろから私を見下ろしている感じで、その時鳥が手に止まった直後に自分が戻った。

その直後は「お前はうちの鳥じゃないか、可愛いなあ。なにをしていたんだっけ？」と、それ以降その鳥とは仲良くしていた。

そのあとは絵は少しうまくなっていた。

次は十九歳。

少なくとも手元にあるもので、十九歳は水彩やアクリルにをだしていた。

しかし二十一までの記憶がものの見事にすっぽ抜けている。

二十一というと学院にいたころで、誰と遊んだ、どの科にいたとかは覚えているけど、気付くと絵が考えられないほど下手になっていた。

とりあえず昔の資料を持ち込むことになったので、それを見せたら「何があったの？」といわれるほど。

私も、手が覚えているはずの水彩から、体の描き方、何もかもが描けなくなって困惑した。

この間しばらくやはり記憶が吹っ飛ぶが、地下鉄である人とゲームのやり取りを少ししたのは覚えている。

この間、私は何かに対してすごく怒っていた模様。

とりあえず卒業までの二年の間、最後の半年だけは覚えている。

最近になって。

一年前半までがやはり記憶になし。

MIXI日記をしてみるが、覚えていることは、「絵が復帰できない」ということで、それ以前プランナーを目指す前になにをしていたか不明。

最近になればなるほど覚えていることは多くなるけど、さすがに十五歳のとき、なにをしていたかは本気で分からない。

そのことを遊びながら友人に言ったら、「解離性人格障害じゃないの？」といわれて、ググって見たが、結構一致はしていた。

なにが怖いのかというと、自分が全く覚えていない期間何があったのかがわからず、どうしてここまで画力が落ちたのかわからないのが一番怖い。